

令和4年6月9日開催教育委員会会議記録

1 開会・閉会等について

開催日	令和4年6月9日(木)
場 所	教育委員会室
開 会	午後3時00分
閉 会	午後3時28分
出席委員	
教 育 長	加 藤 裕 之
委 員	阿 部 博 道
委 員	淺 松 三 平
委 員	白 石 祐 一
委 員	岸 田 玲 子
説明のために出席した職員	
教育委員会事務局次長	宮 本 知 幸
教育委員会事務局参事 (庶務課長事務取扱)	須 藤 浩 司
学 務 課 長	西 村 克 己
指 導 室 長	加 藤 康 弘
すみだ教育研究所長	宮 本 佳 代 子
地域教育支援課長	堀 啓 一
ひきふね図書館長	有 澤 恵 美 子

2 議題について

(1) 報告事項

- 第1 教育委員会関係議案(幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例)の作成に伴う意見聴取について(資料1)
- 第2 墨田区議会副議長の就任について(資料2)
- 第3 墨田区議会常任委員会及び議会運営委員会委員名簿、墨田区議会特別委員会委員名簿について(資料3)
- 第4 墨田区監査委員の就任について(資料4)
- 第5 令和3年度定期監査(第2回)等の結果に基づき区長等が講じた措置の公表について(資料5)
- 第6 文化財保護審議会委員の退任に伴う感謝状の贈呈について(資料6)

第7 すみだ郷土文化資料館の大規模修繕等に伴う臨時休館について（資料7）

3 会議の概要について

教育長 それでは、本日の教育委員会を開会いたします。本日の会議録署名人は、白石委員にお願いします。

報告事項第1・・・資料番号【資料1-1～1-5】

「教育委員会関係議案（幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例）の作成に伴う意見聴取について」、庶務課長が資料のとおり説明する。

教育長 ただいまの説明について、何かご質疑、ご意見はございますか。

（質疑なし）

教育長 この報告は、墨田区教育委員会の権限に属する事務の委任等に関する規則第3条に基づく、教育長の臨時代理による処理の報告ですから、委員会としての承認が必要となります。承認してよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

教育長 それでは、報告のとおり承認することにします。

報告事項第2・・・資料番号【資料2-1】

報告事項第3・・・資料番号【資料3-1～3-2】

報告事項第4・・・資料番号【資料4-1】

「墨田区議会副議長の就任について」、「墨田区議会常任委員会及び議会運営委員会委員名簿、墨田区議会特別委員会委員名簿について」及び「墨田区監査委員の就任について」を一括して、庶務課長が資料のとおり説明する。

教育長 ただいまの説明について、何かご質疑はございますか。

（質疑なし）

報告事項第5・・・資料番号【資料5-1～5-5】

「令和3年度定期監査（第2回）等の結果に基づき区長等が講じた措置の公表について」、庶務課長が資料のとおり説明する。

教育長 ただいまの説明について、何かご質疑はございますか。

（質疑なし）

報告事項第6・・・資料番号【資料6-1】

「文化財保護審議会委員の退任に伴う感謝状の贈呈について」、地域教育支援課長が資料のとおり説明する。

教育長 ただいまの説明について、何かご質疑はございますか。

（質疑なし）

報告事項第7・・・資料番号【資料7-1】

「すみだ郷土文化資料館の大規模修繕等に伴う臨時休館について」、地域教育支援課長が資料のとおり説明する。

教育長 ただいまの説明について、何かご質疑はございますか。

白石委員 休館中に大規模修繕をするということですが、資料は移動するのですか。

地域教育支援課長 今回の工事は、空調機の配管工事を含んでおり、1フロアずつ進めていく工事になります。そのため、工事するフロアにある資料は、別のフロアに移動して、工事が終わったら、終わったフロアに資料を移動する方法で、資料を順繰りに館内移動させながら工事をします。

白石委員 分かりました。次に、館内の殺虫消毒と薫蒸作業は、毎年実施していると思いますが、工事が終わってから、もう一度同じ作業をするのですか。

地域教育支援課長 薫蒸作業は例年9月上旬に実施しており、実施後に大規模修繕工事に入りますので、工事終了後の薫蒸作業は、来年の9月になります。

浅松委員 レイアウト変更や、模様替えまでに及ぶ工事なのですか。

地域教育支援課長 今回の大規模修繕工事は、長期修繕計画に基づくもので、原則は、傷んだところを修繕するのが目的です。その上で、施設内のリニューアルまでできれば望ましいのですが、予算の都合もあり、そこまで実施するのは難しいです。ただ、外壁が少し黒くなっているので、そこを少し装飾することについては検討しています。

教育長 以上で、本日の議事は全て終了しましたが、そのほかに、委員の皆さんまたは事務局から何かございますか。

浅松委員 昨日、立花幼稚園で墨田区立幼稚園教育研究会の公開保育と研究協議会がありました。立花幼稚園は規模が大きく、まるで宝塚のような舞台があって、ホールも非常に広いです。先生方も非常に頑張っていました。遊びから学ぶというのは、小・中学校の教員から見れば、特に中学校の教員から見れば、なかなか理解が難しい部分はありますが、基礎的な、主体性、自主性、我慢、協調性などは、遊びの中にたくさん詰まっていると思います。幼稚園教育の重要さを感じました。

そこで話題になったことがあります。靴取り鬼というのがあります。鬼と子どもに分かれて、鬼が子どもを捕らえると、靴の片方を真ん中に置いて、片足で待機する、それを繰り返していくという遊びです。尻の尾っぽをつかんで取っていくという、尻尾取りという遊びもあり、スリルがあって、危険回避とか、遊びの中にたくさんの要素が詰まっていると話題になりました。

幼稚園の先生は、子どもの輪の中に入って、指導をしながら、少し引っ込み思案の子を前に出したり、全体を調整したりということが、毎日続くんだなと思いながら、感心して見ていました。講師の先生のお話も伺いましたし、非常に勉強になりました。

白石委員 6月6日に本所地区の青少年育成委員会の総会に出席してきました。3年振りの対面開催で、換気もしっかりとして、30分程度で終わったと思います。地域の町会長やそのほかの方々も多く出席していて、久しぶりに意見交換ができたという声を聞きました。これから新型コロナウイルス感染症が収束していく中で、どんどんいい形で展開できればいいと思いました。

各学校の運動会も見学してきました。先生方が非常に工夫をしていて、親の移動、子どもたちへの配慮、「マスク取りなさい」という声掛けなどしていました。いろいろな意見がある中

で、子どもたちは先生の指示に従って、マスクを外している子も多く見受けられました。ただ、午前中で終わってしまう学校も多いので、以前は1時間くらいは見学したのですが、大体20分から30分くらい見学して、別の学校へ移動しますので、全ては見られなかったのが残念でした。ただ、子どもたちからは、運動会をやれたという楽しさが伝わってきたので、とてもよかったです。

岸田委員 中学3年生の英語のスピーキングテストが11月に実施されるとともに、来年度の都立高校の入試に反映されると聞いたので、各中学校の先生方は、その対応等で大変なのではないかと思って、気になっています。

指導室長 東京都教育委員会が中学校を対象にした説明会を行っています。その説明会での配布資料も、学校に配布しています。スピーキングテストの運営は、東京都教育委員会が実施しますので、中学校の先生が何かをすることではありません。ただ、生徒の申し込み状況は把握して、申し込みを忘れていた生徒に対しては、声をかけるなどします。また、テストの結果については、本人に戻りますが、学校側も、テスト結果の状況を踏まえ今後の授業や指導方法の工夫・改善に生かしていきます。

岸田委員 入試結果に反映される、可否に関係する部分はあるんですか。

指導室長 スピーキングテストの結果を、東京都が点数から6段階に換算します。それを調査書という中学校から高等学校に提出する記録欄に記入するという形になっています。

教育長 点数における配分は発表されていますね。

指導室長 1,020点満点のうち、20点がスピーキングテストの配点です。

岸田委員 反対意見もあると聞いています。

教育長 都議会でも質問が出ていて、実施時に欠席した人の取扱いなどに混乱が生じる恐れがあるので、通知が出ました。

指導室長 受験できなかった生徒については、本人が不利にならないよう、同一の学力検査、英語の検査等の点数が同程度の生徒たちのスピーキングテストの結果から、東京都教育委員会が対応するという事です。また、東京都教育委員会のホームページにスピーキングテストの練習ができるデジタル教材が出ていますので、塾に行く行かないにかかわらず、家庭で勉強するコンテンツもあります。

教育長 東京都教育委員会の思いとして、今回のスピーキングテストに対しては、学校できちんと対応してください、ということがあると思います。各学校でのスピーキングテストの結果を受けて、どの程度のスピーキング力が求められるか、都が求めているレベルが明らかになっていくわけです。指導室長が言ったように、塾に行かないと勉強ができないということではなく、家庭学習を補強する教材もあるので、特に問題があると考えていないということによいですか。

指導室長 はい。東京都教育委員会の方針に基づいて、円滑に実施できるよう、周知していくということです。

浅松委員 英語の教科書も変わり、ネイティブな英語にも触れていく中で、今までの教科書ではできなかったことが、デジタル教科書ではできるようになり、スピーキングにも役立つと思います。また、演習的な課題も、どの教科書も充実していて、ただ本文を読んで、訳して終わりではなくて、応用を利かせて、スピーキング力につながるような工夫ができるようになって

きているのではないかと思います。

教育長 教師が持っているデジタル教科書の音声を生徒に配ることはできないので、ネイティブティーチャーが読み上げた音声を配信できるようにしてあります。このような方法で、リスニング対策をきちんとやっています。墨田区の中学生の英検準2級以上の保有率は、全国平均より高いです。

教育長 ほかになければ、これで教育委員会を閉会します。